

TIME SPEC CLUB



小さな店構えだが、一歩、中に入れば個性的な時の空間が広がる。

個性と情熱が作り出す時の空間。機械式時計を愛する人なら必見の「クロノパッション」



サロン風のオーデマ・ピゲ・ブティック。店内でクロノパッションと通じ、他ブランドの時計も手にとることができる。各社のカタログも充実して揃えられている。



CHRONOPASSION
271, rue Saint-Honoré
75001 Paris, France
Tel: 33-0142605072
Fax: 33-014279148



サントノール通りに並ぶクロノパッションとオーデマ・ピゲ・ブティック。クロノパッションとは「時の情熱」の意味だが、まさにオーナーのビショット氏（写真下）の時計に対する熱い思いがこもっている。自分が所有した商品だけを使う、という方針を徹底して貫いている。



エルメスやカルティエなどの高級ブティックが並ぶパリのサントノール通りに1軒の時計店とその隣にオーデマ・ピゲのブティックがある。実はこの2軒、中々つながる1軒のショップだ。クロノパッションはフランスの時計愛好家たちのあいだで、こだわりの店として知られる。1988年に開店し、最初の2年間はジュラルド・ジェンタのみを扱っていたというから、異質さは想像に難くない。自分好みの時計だけを扱う、これが私の方針です。91年のバーゼル・フエアに行き、ブレゲ、バセロン・コンスタンチン、アラン・シルバースタイン、ダニエル・ロートなど、13ブランドを扱うことを決めました。技術、デザインともに優れていて、情熱と情熱を感じられるブランドでないと、興味がありません。

こう語るオーナーのロレン・ビショット氏は父親譲りの時計好きだ。10代の頃、父がオーデマ・ピゲのロイヤルオークを買ったというのでブティックに遊びに行くと、そこで出会ったのがこの時計だ。まるでここから他の世界から来たような時計という印象でした。以来、時計に夢中なんです。

最初ではランゲンランド・ブティックにひとりで働いたという。ビショット氏の情熱と個性が選んだ商品にはまさに通ずる。流行という言葉を気にしない潔さがある。